

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願ひ

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

教室における膵切除後膵液漏の実態とドレーン管理に関する検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月～2020年12月に当院で膵切除術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

膵切除後の術後合併症発生率は30-65%と高率であり、特に膵液漏に起因する出血性合併症は重篤な合併症であり致死的となる場合もあります。膵切除後膵液漏の頻度や重篤化を早期に診断・予測しドレーン管理を含めた適切な治療を行うことは合併症率・術後在院死亡率が高率である膵切除を安全に施行していく上で極めて重要な課題です。昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科で膵切除を受けた患者を対象として、膵切除後患者におけるドレーン排液中アミラーゼ濃度測定、同細菌培養検査、術後のCT検査を行い（いずれも通常臨床で行う範疇のもの）、膵液漏の頻度やドレーン管理と治療の実際を検討、臨床病理学的因子との関連や危険因子などについても解析検討します。本検討により膵液漏の発生予測、重篤化予測が可能となれば、ドレーン管理をはじめとした早期治療介入により致死的となるような状況を未然に防ぐことにつながる有用な検討となるため本研究を企画しました。本研究は学術研究であり、昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科に入院中の患者データを利用します。患者データは病院内の診療録管理室にて「9.診療録等の調査項目」に記載した情報を取得する。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

### 研究期間

2019年11月11日～2021年12月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術に関する詳細、手術に起因した合併症発生状況や治療歴、退院後の経過  
試料：手術で摘出した組織等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書お

よび関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者： 松尾 憲一

所属：昭和大学藤が丘病院（医学部外科講座消化器・一般外科部門）

住所：〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30 電話番号：045-971-1151